

# 4カ所目のメガソーラー 登別市内 竣工式に50人



完成した太陽光発電所前であいさつする高橋社長

テープカットを行った。高橋社長は「将来的には蓄電池を設け、停電の際は地域に電気を供給できるようにしたい」と話した。同社は現在、伊達市内でもメガソーラーを建設している。

(小沢弘和)

【登別】暖房設備施工業「日弘ヒーティング」(高橋伸英社長、札幌)が市内登別東町で建設していた出

力1007坪の大規模太陽光発電所が完成し6月27日、現地で竣工式が行われた。出力が千kwを超える「メガソーラー」は市内4カ所目となった。

昨年12月に着工。同社が購入した約2万7千平方メートルの土地に6千枚以上の太陽光パネルが並ぶ。総工費は約4億円。6月25日から発電への売電を始めており、年間の売電収入は約4500万円を見込んでいる。

竣工式には同社や工事関

# 「日弘」メガソーラー稼働 市内4カ所目

登別市で4カ所目となる  
大規模太陽光発電所（メガ  
ソーラー）が稼働した。暖  
房工事を手掛ける日弘ヒ  
ティング（本社札幌市、高  
橋伸英代表取締役社長）が

登別東町に建設した「登別  
東町発電所」の竣工式が6  
月27日、同所で行われ、関  
係者が完成を祝った。

同発電所は2420平方  
メートルの敷地に太陽光パネルを  
6105枚設置。年間発電  
量は一般家庭360戸分に  
相当する約130万キロワ  
ット時。電力は全量を北海道電  
力に売電する。事業期間は

20年間で年間売電収入を4  
千4500万円を見込ん  
でいる。

式には工事施工業者ら約  
50人が出席。高橋社長が「困  
っている人の役に立てない  
か考えていた。将来的に蓄  
電池を設置し、万が一の際  
に近隣の皆さんに電気を供  
給していきたい」とあいさ  
つした。

小笠原春一市長は「環境  
衛生として、地域の貢献度  
は非常に高いと考える。地  
域の皆さんと友好な関係と  
連携を結んでいただきた



発電所の完成を祝いテープカットする関係者

い」と期待を寄せた。  
最後に関係者でテープカ  
ットし、発電所が披露され  
た。  
(栗田純樹)